



## 2021年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月7日

上場会社名 株式会社 フェリシモ

上場取引所 東

コード番号 3396 URL <https://www.felissimo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 宮本 孝一

TEL 078-325-5555

定時株主総会開催予定日 2021年5月27日 配当支払開始予定日 2021年5月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年5月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	33,260	16.3	1,504	394.1	1,510	313.8	1,285	252.0
2020年2月期	28,607	1.0	304	43.0	365	49.5	365	47.5

(注) 包括利益 2021年2月期 1,349百万円 (244.4%) 2020年2月期 391百万円 (52.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	194.30		7.3	4.5	4.5
2020年2月期	52.57		2.2	1.2	1.1

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 14百万円 2020年2月期 2百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	35,724	18,061	50.6	2,535.75
2020年2月期	31,076	17,162	55.2	2,469.51

(参考) 自己資本 2021年2月期 18,061百万円 2020年2月期 17,162百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	2,545	676	449	15,321
2020年2月期	328	758	43	12,581

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期		0.00		5.00	5.00	34	9.5	0.2
2021年2月期		0.00		15.00	15.00	106	7.7	0.6
2022年2月期(予想)		0.00		5.00	5.00		9.1	

(注) 2021年2月期期末配当の内訳 普通配当5円00銭 新社屋移転記念配当10円00銭

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,877	1.8	174	81.1	190	78.8	182	76.0	25.69
通期	32,194	3.2	377	74.9	408	73.0	390	69.7	54.78

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期	10,043,500 株	2020年2月期	10,043,500 株
期末自己株式数	2021年2月期	2,920,802 株	2020年2月期	3,093,802 株
期中平均株式数	2021年2月期	6,618,051 株	2020年2月期	6,949,698 株

(参考)個別業績の概要

2021年2月期の個別業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	32,228	12.7	1,482	372.5	1,537	304.3	1,274	239.4
2020年2月期	28,590	1.0	313	41.2	380	47.5	375	46.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	192.51	
2020年2月期	54.01	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年2月期	35,209		17,648		50.1		2,477.75	
2020年2月期	31,097		17,172		55.2		2,470.93	

(参考) 自己資本 2021年2月期 17,648百万円 2020年2月期 17,172百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. その他 .....	14
(1) 役員の異動 .....	14
(2) 販売の状況 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出されるなど厳しい状況にありました。小売業界においては巣ごもり消費によるオンライン通販の拡大が続くなど個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、同感染症の終息が見通せない中で景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、相対価値対応型事業展開ではなく、絶対価値追求型経営を追求することにより、非同質的競争経営基盤の確立に努めてまいりました。その結果、主力事業である定期便事業においては構造強化と次代を担う新たな事業の育成に大きな成果が見られました。

定期便事業においては、当連結会計年度を通じて顧客との共感を基点とした継続的関係性が強化され、新型コロナウイルス感染症の拡大による自粛ムードが広がる中においても、人生や生活により豊かに向かい合えるようさまざまな提案を行ってまいりました。当社の圧倒的な強みである企画構想力を生かした独創的な商品展開は、SNSや各種メディアで大反響となり数々のヒット商品を誕生させました。また、テレビコマースやウェブマーケティング、ダイレクトメールやダイレクトメッセージなどの複合型マーケティング施策が軌道に乗り、新規顧客数の拡大、過去購買顧客の再購入数の増大及び継続顧客数の大幅な増加などにつながりました。当連結会計年度においては、「ヨガ気分ブラ」をはじめとする「flufeel (フラフィール)」のインナー商品や、毎日の暮らしにゆとりを与えてくれる「frauglatt (フラウグラット)」の日常服、「Couturier (クチュリエ)」のオリジナル手づくりキットといった、おうち時間を快適に過ごすための生活雑貨関連商品の売上げが前期に比べて大きく増加いたしました。また、「Live in comfort (ライブ イン コンフォート)」や「Sunny clouds (サニークラウド)」、「MEDE19F (メデ・ジュウキュウ)」などのファッションブランドの売上も、商品力と販売力の向上により年間を通して堅調に推移いたしました。

新規事業分野においては、近年積極的に推し進める当社の保有リソースや資産を活用した物流及びEC支援等のB2B事業や、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS (フェリシモパートナーズ)」事業も前期に比べて売上高を増加させました。

これらの活動の結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は33,260百万円（前期比 16.3%増）となり、前期を大きく上回りました。また、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は18,056百万円（前期比 17.1%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上げの増加に伴う販売費及び広告費の増加や減価償却費が増加したこと、16,552百万円（前期比 9.5%増）となりました。これらの結果、営業利益は1,504百万円（前期比 394.1%増）となりました。

営業外損益では、営業外収益を87百万円、営業外費用を80百万円計上したことにより、経常利益は1,510百万円（前期比 313.8%増）となりました。税金等調整前当期純利益は1,501百万円（前期比 302.2%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,285百万円（前期比 252.0%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は35,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,647百万円増加（15.0%増）いたしました。これは主に、業績好調だったこと等に伴う現金及び預金の増加1,381百万円及び売掛金の増加376百万円、2021年1月に完成した当社の本社新社屋建設への投資等による有形固定資産の増加3,170百万円、システム投資等による無形固定資産の増加270百万円があった一方で、有価証券の減少が830百万円となったことによるものであります。

負債合計は17,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,748百万円増加（26.9%増）いたしました。これは主に、売上好調に伴う仕入の増加等による支払手形及び買掛金の増加256百万円、電子記録債務の増加280百万円及び支払信託の増加228百万円、当社の本社新社屋建設に係る債務を計上したこと等による未払金の増加2,827百万円となったことによるものであります。

純資産合計は18,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ899百万円増加（5.2%増）いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を1,285百万円計上したこと及び自己株式処分差損の振替額を587百万円計上したこと等により利益剰余金が663百万円増加した一方、自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による取得が415百万円及び第三者割当による自己株式の処分が587百万円あったことにより自己株式が172百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、15,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,740百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は2,545百万円（前期比 674.9%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上1,501百万円及び仕入債務の増加765百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は676百万円（前期は758百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻が預入を上回ったことによる収入1,184百万円及び有価証券の償還が取得を上回ったことによる収入1,038百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出989百万円及び無形固定資産の取得による支出499百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は449百万円（前期比 937.8%増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出415百万円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
自己資本比率 (%)	51.3	53.7	54.8	55.2	50.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	24.6	29.4	24.3	21.0	26.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.8	2.1	3.5	9.1	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,087.4	961.3	571.5	237.7	1,701.6

（注）1. 各指標の算出は以下の算式を使用し、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な課題と認識いたしておりますが、一方で長期的な事業展開と財務安全性のために必要な内部留保を確保しつつ、さらに業績動向を勘案し、安定した配当を継続実施することを基本方針としております。また、内部留保資金につきましては、今後予想される情報技術環境、事業環境の変化に対応すべく、有効投資してまいります。

当期の年間配当金につきましては、1株当たり普通配当5円に加え、本社新社屋への移転を記念いたしまして1株当たり10円の記念配当を実施させていただくことといたしました。この結果、1株当たり15円（期末配当）とさせていただきます。なお、次期の年間配当金につきましては、1株当たり5円（期末配当）を見込んでおります。

(4) 今後の見通し

2022年2月期も新型コロナウイルス感染症の感染状況や沈静化の見通しに不透明感が残る状況が想定されることから、より確実性の高い経営数値目標を設定し経営にあたることといたします。当社グループでは、主力事業である定期便事業を再構築しつつ、事業戦略に基づき既存ブランドを再編成して新規ブランドの創出を行うと同時に、成長を担う新規事業の開発と育成を課題として全社で共有し、経営に取り組んでまいります。

定期便事業につきましては、2022年2月期も企画力を生かした独創性溢れる商品開発や、各種メディア編集による競争対応に強い絶対価値追求型の事業活動に取り組んでまいります。また、2022年2月期を顧客数拡大基調をより盤石なものとし、長期的成長軌道に乗せるための重要な節目となる事業年度であると位置づけ、顧客数拡大に軸足を置いたマーケティング施策に取り組んでまいります。広告費の投入拡大と顧客単価の抑制により顧客数拡大を後押しするとともに、顧客と継続的關係性を高めるための商品やサービスの開発にも力を入れ、中長期的な持続的成長のための礎を築く一年といたします。

新規事業分野につきましても、新たな戦略的事業領域としてフェムテック事業及び個才能発達支援事業などの研究に着手いたします。また、引き続き当社が保有する物流リソースや資産のオープン化による物流及びEC支援事業や、出品・出稿型のプラットフォーム開放事業を拡張させることで事業基盤の強化に取り組んでまいります。

当期については巣ごもり消費に伴う一定の売上げ増加効果があったものの、今後の新型コロナウイルス感染症の終息が不透明な状況等に鑑み、これらの影響及び効果を見込まないこととしたため、2022年2月期の売上高については当期を下回る計画といたしました。他方、費用面においては今後の経営基盤構築のための戦略的投資を計画しております。具体的には、恒常的な顧客獲得基盤のさらなる強化や顧客との接点または手法の新規開発等のため広告費の増加を見込むとともに、次世代のWebシステム基盤整備費用等を見込んでおります。上記の費用に加え、本社新社屋の完成に伴う減価償却費の増加を見込んだことから、利益についても当期を下回る見通しとなっております。2022年2月期は上記の施策を重点的に実施することで2023年2月期以降の売上げ及び利益の着実な成長を図り、2025年2月期には連結売上高40,000百万円、連結営業利益2,000百万円を目指すことといたしております。

これらの結果、2022年2月期の当社グループの連結業績見通しにつきましては連結売上高32,194百万円(前期比3.2%減)、連結営業利益377百万円(前期比74.9%減)、連結経常利益408百万円(前期比73.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益390百万円(前期比69.7%減)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の再拡大などにより、わが国の経済は依然として先行き不透明な状況で推移することが予測されます。同感染症による当社業績に与える影響につきましては現時点では直接的な影響は不透明ですが、当社の事業活動や経営成績に影響を及ぼすおそれが生じた場合は速やかに開示いたします。

本資料に記載されている目標及び業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	15,316	16,697
売掛金	2,729	3,106
有価証券	2,042	1,212
信託受益権	629	567
商品	3,894	4,189
貯蔵品	44	47
未収還付法人税等	—	0
未収消費税等	—	163
その他	771	604
貸倒引当金	△38	△38
流動資産合計	25,391	26,550
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	3,982	7,480
減価償却累計額	△3,560	△3,121
建物及び構築物(純額)	422	4,358
機械装置及び運搬具	2,943	3,002
減価償却累計額	△2,878	△2,893
機械装置及び運搬具(純額)	64	109
工具、器具及び備品	770	786
減価償却累計額	△697	△715
工具、器具及び備品(純額)	73	70
土地	1,946	1,950
リース資産	139	139
減価償却累計額	△139	△139
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	916	104
有形固定資産合計	3,423	6,593
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	767	850
その他	96	283
無形固定資産合計	863	1,134
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,158	1,178
その他	239	267
投資その他の資産合計	1,398	1,445
固定資産合計	5,685	9,173
資産合計	31,076	35,724

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,113	1,370
電子記録債務	1,767	2,047
支払信託	2,392	2,620
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000
未払金	1,312	4,139
未払法人税等	48	263
未払消費税等	99	25
売上値引引当金	3	5
返品調整引当金	43	55
販売促進引当金	215	231
賞与引当金	155	164
資産除去債務	—	146
その他	267	276
流動負債合計	7,420	14,348
固定負債		
長期借入金	3,000	—
繰延税金負債	12	22
退職給付に係る負債	3,059	3,019
資産除去債務	144	5
その他	277	267
固定負債合計	6,493	3,314
負債合計	13,913	17,662
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	13,444	14,108
自己株式	△3,033	△2,861
株主資本合計	17,121	17,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	39
繰延ヘッジ損益	2	5
退職給付に係る調整累計額	17	59
その他の包括利益累計額合計	40	103
純資産合計	17,162	18,061
負債純資産合計	31,076	35,724



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	28,607	33,260
売上原価	13,217	15,191
売上総利益	15,389	18,068
返品調整引当金戻入額	71	43
返品調整引当金繰入額	43	55
差引売上総利益	15,417	18,056
販売費及び一般管理費	15,113	16,552
営業利益	304	1,504
営業外収益		
受取利息	42	20
受取家賃	11	11
受取補償金	10	4
助成金収入	1	10
預り金精算益	5	4
信託受益権運用益	4	4
その他	29	31
営業外収益合計	105	87
営業外費用		
支払利息	1	1
有価証券償還損	—	5
たな卸資産評価損	26	—
持分法による投資損失	2	14
為替差損	12	55
その他	1	2
営業外費用合計	44	80
経常利益	365	1,510
特別利益		
持分変動利益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
関係会社株式評価損	—	9
特別損失合計	—	9
税金等調整前当期純利益	373	1,501
法人税、住民税及び事業税	5	215
法人税等調整額	2	—
法人税等合計	8	215
当期純利益	365	1,285
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	365	1,285

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	365	1,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	18
繰延ヘッジ損益	0	2
退職給付に係る調整額	30	42
その他の包括利益合計	26	63
包括利益	391	1,349
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	391	1,349
非支配株主に係る包括利益	△0	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,868	4,842	13,114	△3,033	16,791
当期変動額					
剰余金の配当			△34		△34
親会社株主に帰属する当期純利益			365		365
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分			—	—	—
自己株式処分差損の振替			—		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	330	—	330
当期末残高	1,868	4,841	13,444	△3,033	17,121

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	25	1	△13	14	2	16,808
当期変動額						
剰余金の配当						△34
親会社株主に帰属する当期純利益						365
自己株式の取得						—
自己株式の処分						—
自己株式処分差損の振替						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4	0	30	26	△2	23
当期変動額合計	△4	0	30	26	△2	353
当期末残高	21	2	17	40	—	17,162

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,868	4,841	13,444	△3,033	17,121
当期変動額					
剰余金の配当			△34		△34
親会社株主に帰属する当期純利益			1,285		1,285
自己株式の取得				△415	△415
自己株式の処分		△587		587	0
自己株式処分差損の振替		587	△587		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	663	172	835
当期末残高	1,868	4,841	14,108	△2,861	17,957

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	21	2	17	40	—	17,162
当期変動額						
剰余金の配当						△34
親会社株主に帰属する当期純利益						1,285
自己株式の取得						△415
自己株式の処分						0
自己株式処分差損の振替						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18	2	42	63	—	63
当期変動額合計	18	2	42	63	—	899
当期末残高	39	5	59	103	—	18,061

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	373	1,501
減価償却費	286	417
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
売上値引引当金の増減額 (△は減少)	△2	1
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△27	12
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	7	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	104	2
受取利息及び受取配当金	△43	△20
支払利息	1	1
為替差損益 (△は益)	23	62
売上債権の増減額 (△は増加)	△65	△376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△97	△297
未収消費税等の増減額 (△は増加)	16	△163
仕入債務の増減額 (△は減少)	△186	765
未払金の増減額 (△は減少)	172	456
未払消費税等の増減額 (△は減少)	99	△73
その他	△366	248
小計	295	2,567
利息及び配当金の受取額	42	31
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△8	△51
営業活動によるキャッシュ・フロー	328	2,545
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,556	△6,164
定期預金の払戻による収入	7,240	7,348
有価証券の取得による支出	△4,000	△2,000
有価証券の償還による収入	4,000	3,038
有形固定資産の取得による支出	△1,058	△989
無形固定資産の取得による支出	△375	△499
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
その他	2	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△758	676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△8	—
自己株式の取得による支出	—	△415
自己株式の処分による収入	—	0
配当金の支払額	△34	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△485	2,740
現金及び現金同等物の期首残高	13,082	12,581
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△15	—
現金及び現金同等物の期末残高	12,581	15,321

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた31百万円は、「助成金収入」1百万円、「その他」29百万円として組替えております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、収束時期の見通しが不透明な状況であり、事業によってその影響や程度が異なるものの、当期末の見積りに大きな影響を与えるものではないと想定しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の広がりに伴う経済活動への影響等には不確定要素も多いため、想定に変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自2019年3月1日 至2020年2月29日)及び当連結会計年度(自2020年3月1日 至2021年2月28日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2019年3月1日 至2020年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2020年3月1日 至2021年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自2019年3月1日 至2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2020年3月1日 至2021年2月28日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自2019年3月1日 至2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2020年3月1日 至2021年2月28日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自2019年3月1日 至2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2020年3月1日 至2021年2月28日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	2,469.51円	2,535.75円
1株当たり当期純利益金額	52.57円	194.30円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年2月29日)	当連結会計年度末 (2021年2月28日)
純資産の部の合計額 (百万円)	17,162	18,061
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
(うち非支配株主持分 (百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	17,162	18,061
普通株式の発行済株式数 (千株)	10,043	10,043
普通株式の自己株式数 (千株)	3,093	2,920
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	6,949	7,122

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	365	1,285
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	365	1,285
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,949	6,618

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

該当事項はありません。

(2) 販売の状況

販売実績

品目	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)			当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)		
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
服飾・服飾雑貨	19,944	98.6	69.7	22,046	110.5	66.3
生活関連	7,586	99.7	26.5	9,737	128.4	29.3
その他	1,076	103.2	3.8	1,475	137.1	4.4
合計	28,607	99.0	100.0	33,260	116.3	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。